

第 220 号 令和 7 年 11 月 1 日

編集・発行 矢沢地域振興会

〒025-0016 花巻市高木 19-24-14 矢沢振興センター内 電話・FAX 29-5480

「矢沢地域悪臭問題」に関する 要望書

岩手県知事に初提出

10月10日、長年、矢沢地域の重要な課題である悪臭問題の根本的な解決策を求め、義務教育学校の設立に向けて軌道に乗ったこの時期に、矢沢地域振興会（中島健次会長）では、初めて設置許可権者である岩手県知事に要望書を提出しました。要望書提出には矢沢地域振興会と矢沢地域環境対策協議会の三役が出席。また岩手県議会議員・川村伸浩様、花巻市議会議員・佐藤峰樹様にご同席いただきました。岩手県側の出席者は環境生活部部長以下3名、農林水産部部長以下4名、県民くらしの安全課1名が対応しました。また、川村伸浩様のご尽力により岩手県議会議長にも要望書を提出することができました。

（なお、「要望書提出」の経緯等の詳細について、12月15日発行の季刊やまぼうしに掲載予定）



中里環境生活部長（右）・佐藤農林水産部長（中）に要望書を手交

城内愛彦岩手県議会議長に要望書手交

◎ 令和 7 年度 矢沢地区市政懇談会

今年度の市政懇談会は、9月29日矢沢振興センターにおいて、上田東一市長をはじめ14名の幹部職員を迎えて開催されました。司会は高橋靖矢沢地域振興会理事が務め、地区から消防団員を含めて33名が出席し1時間30分にわたり懇談が行われました。

今回矢沢地区から提出した「消防団員の確保について」、押切幹夫第4分団長は近年の地球温暖化に伴う自然災害の甚大化や大船渡市の大規模林野火災を例に消防団の重要性を強調。一方、少子高齢化に伴う消防団員の減少について切実に訴え、当局の対応策をただしました。続いて多田章高松第二行政区長は、「空き家対策について」、近年家族構成の変化に伴い空き家が多くなっている実態を地元行政区や、矢沢全体の実数を示し、市当局が執っている対応策について質問しました。最後に、教育企画課から矢沢地区義務教育学校整備事業の進捗状況について報告がありました。

令和7年度 矢沢地区

文化祭

会場：矢沢振興センター

【作品展示】講堂

- ◎ 11月8日（土）9時～16時
- ◎ 11月9日（日）9時～15時

・各種サークル、矢沢地域のお住まいの方からの出展作品、こども園・保育園園児、小中学生の作品、やさわの園、明朗大学生の作品等々…

【簡単♪体験コーナー（無料）】

ご家族みんなで寄ってみてね！

- ◎ 11月8日（土）9時～16時
- ◎ 11月9日（日）9時～15時

◆ ちょっと 生け花（講堂）

協力：山月会

◆ いろいろ ふくろうストラップ

協力：ハンドメイドサークル

こどもたち優先

- ◎ 11月8日・大広間 9日・講堂

【ステージ発表】大広間 ^♪♪♪

- ◎ 11月9日（日）9時30分～12時00分
- ・コーラス、詩吟、踊り、社交ダンス、民謡など盛りだくさん、さらに初登場「金星少年少女オーケストラ」による弦楽器の響きに乞うご期待！



なお、地区からの要望・質問、市側からの回答については、後日まとまり次第、市のホームページや矢沢振興センターで公表されます。



上田東一花巻市長



第4分団長の押切幹夫さん



多田章さん

第16回 矢沢伝統芸能伝承大会

11月16日(日)午後1時~

矢沢振興センター・講堂

みな様のご来場をお待ちしています!

【演目・出演団体】(入場無料)

◎ 御神楽奏上	・胡四王神楽
1 ご祝い唄	・東十二丁目行政区
2 和太鼓 葦薺・薺夢	・島こども園
3 しんがく	・やさわこども園
4 百姓踊り	・胡四王百姓踊り保存会
5 鶴舞	・胡四王神楽
6 鶴舞	・高松神楽
7 三番叟	・胡四王神楽
8 水神の舞	・幸田神楽
9 木曽舞	・胡四王神楽
10 天孫降臨の舞	・幸田神楽
11 権現舞	・安野稻荷神楽



● 令和7年度矢沢振興センターの暖房料

大広間 (FF式ストーブ)	240円
講堂 (大型ストーブ)	160円
2階和室 (大型ストーブ)	160円
談話室 (大型ストーブ)	160円

注: 暖房使用料

一台1時間あたり(ただし30分以上は切り上げ)
なお、最初の1時間に満たない30分未満の使用は、
1時間とします。

※ 火のお取り扱いには十分ご注意願います!



自然の織り成す景観求め 紅葉の須川へ!

《第3回自然探訪教室》

あやしい空模様の10月8日、探訪教室一行18名は須川高原に向かう。参加者からは、「歩き始めは小雨だったけど、後半はやんで、きれいな紅葉を見ることができて良かった。個人や大型バスで来ている人が多くてびっくりした。腰が痛く心配しましたが、最後まで歩いて良かったです。ありがとうございました。」「賽の磧は見事でした。小雨~晴と変わる天気でしたが、紅葉は素晴らしいです!自然探訪の来年も期待しております。」との感想。講師の福盛田先生、引率の佐藤さん、大森さん、運転の谷川さんご苦労様でした。来年もよろしく!



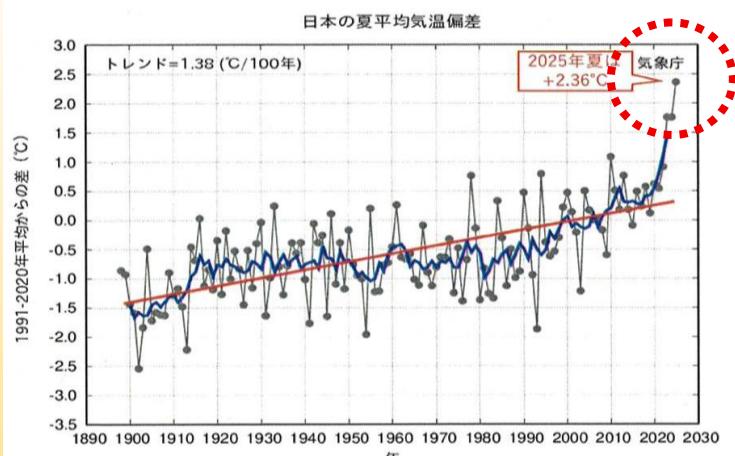
★ 移動図書館(ぎんが号)運行日程 ★

11/14(木)	団地会館	13:40~14:00
11/14(木)	福祉センター	14:15~14:45
11/20(水)	高木観音	09:20~09:50
11/20(水)	振興センター	10:05~10:35
11/20(水)	やさわこども園	10:50~11:20

【事務局員のつぶやき】(寒さが身に染みる季節に向かい、暑い夏の思い出は!?)

仙台管区気象台が発表した寒候期予報によると、今年の冬の東北地方は平均気温、降水量ともに平年並みを予想。一時的に冬型の気圧配置が強まるとしており、冬らしい冬ということになりそうです。ちなみに平均気温が平年並みということは寒暖の差が大きくならして平年並みということがあります。年をとると寒さが身に染み、暑かった夏が懐かしくなります?そこで今年の暑い夏を気象庁の資料から振り返っていきます。日本の気候を見る場合の統計としては、都市化による影響が比較的小小さく、長期間の観測が行われている地点から地域的に偏りなく分布するように選定した15地点(網走・根室・寿都・山形・石巻・伏木・飯田・銚子・境・浜田・彦根・宮崎・多度津・名瀬・石垣島)の観測値を用います。また、平年値は1991~2020年の30年平均値を用いています。右図から、今年の夏の平均気温偏差+2.36°Cといかに暑さが顕著であったか分かります。(資料は気象庁発表)

ちなみに、北日本の6月以降の半旬気温偏差を見ると、6月第一半旬のみマイナスでその後は全てプラスで経過しています。(図省略)。



日本の夏平均気温偏差